

小矢部市小中学校再編推進計画 (案)

小矢部市総合教育会議

令和6年12月

小矢部市小中学校再編推進計画（案）

<目次>

第1章 計画策定について

1 計画策定の趣旨	1
2 計画の推進と見直し・検証	1

第2章 学校再編の基本的な考え方

1 学校教育の基本方針と学校再編	2
(1) 学校教育方針と学校再編	2
(2) 学校教育の施策の方向性・施策内容と学校再編	2
2 望ましい学校規模	3
(1) 学校規模の大小に伴うそれぞれのメリット・デメリット	3
(2) 学校における望ましい教育環境	4
(3) 小矢部市における望ましい学校規模	4
3 望ましい学校再編	5
(1) 望ましい学校再編の観点	5
(2) 望ましい学校再編についての基本的留意点	5
(3) 通学区域の考え方	6

第3章 学校再編の具体的な方向性

1 児童生徒数の推移	7
(1) 児童生徒数のこれまでの推移	7
(2) 児童生徒数・学級数の今後の予測	7
(3) 各学校別の児童生徒数・学級数の予測の分析	7
2 各学校施設の整備・改修状況と教室数	9
3 具体的な学校再編と実施目標時期	10
(1) 具体的な学校再編	10
(2) 学校再編の実施目標時期	12
4 各学校再編後の校舎の位置・校名等	13
5 各学校再編実施に向けた取り組み	13
(1) 通学バス増便による通学手段・適切な通学時間の確保	13
(2) 放課後児童クラブの整備	14
(3) 「(仮)学校再編推進地域協議会」の設置	14
(4) 「(仮)学校再編準備委員会」の設置と合同授業等の実施	14
(5) 長期財政計画の策定	14
6 学校再編に伴う影響	14
(1) 防災面での影響と対応	14
(2) 公民館事業・地域行事等への影響と対応	15
(3) スポーツ少年団・社会活動団体・地域活動への影響と対応	15
7 各学校施設の対応	15
(1) 再編対象外の学校施設の対応	15
(2) 再編対象の学校施設の対応	16

8 再編後の各学校施設の活用・処分	16
-------------------	----

図表

1 児童生徒数の推移	17
2 学校別の児童生徒数・学級数の推移と予測	18
3 学校施設整備の現況	24

参考資料

1 学校規模によるメリットとデメリット	26
2 小中学校の統廃合に関するアンケート調査結果	28
3 令和6年度市長のタウンミーティング等での意見について	30

第1章 計画策定について

1 計画策定の趣旨

本市では、「小矢部市第7次総合計画」（以下「市総合計画」という。）に「魅力・安心・充実 しあわせ おやべ」を本市の将来像と定め、基本目標の一つとして「人をすこやかにはぐくむ教育と歴史文化がいきづくまち」を掲げています。これを受け、市教育委員会では、平成31年3月に「第2次小矢部市教育大綱」（以下「市教育大綱」という。）を策定し、翌年度から各種学校教育の施策を推進しています。

そのような中、本市の人口減少に伴う児童生徒数及び学級数の減少が進行してきたことから、平成30年6月、小矢部市小中学校統廃合審議会（以下「市小中学校統廃合審議会」という。）を設置し、令和元年12月まで「小矢部市立小中学校の適正規模に関する基本的な考え方と適正化に向けた具体的な方策」について検討いただき、「答申」を受けました。

本計画は、「答申」の実現に向けて必要な諸施策や、学校施設の現状と今後などについて総合的な精査・検討を行うと共に、保護者アンケートや市長のタウンミーティングにおける意見等を踏まえたうえで、本市の学校再編に向けた基本的な取り組み方針を示すものです。

2 計画の推進と見直し・検証

本計画は、今後、20年間の学校再編に関する基本的な方針を示すものであり、実施に当たっては、引き続き、保護者や地域の方々からのご意見をいただきながら、学校再編を推進していきます。

なお、社会の変化や教育を取り巻く状況の変化が著しいことを踏まえ、時々の社会変化や人口の状況、学校制度の変更等を勘案しながら、計画の必要な見直しを行っていきます。

また、再編を実施した学校については、その成果・課題について、適宜、評価・検証を行い、常によりよい学校のあり方を求めて努力を重ねるものです。

第2章 学校再編の基本的な考え方

1 学校教育の基本方針と学校再編

(1) 学校教育方針と学校再編

これからの本市の学校教育のあり方については、「市総合計画」の基本目標及び「市教育大綱」において「人をすこやかにはぐくむ教育と歴史文化がいきづくまちづくり」のテーマのもと、『人とのかかわりやふるさと小矢部を大切にしながら、国際化、情報化等の社会変化に対応できる「生きる力」を育む教育を推進する』ことが学校教育の基本方針としており、学校再編においても、この基本方針に基づき推進することが適切と考えます。

基本方針

人とのかかわりやふるさと小矢部を大切にしながら、国際化、情報化等の社会変化に対応できる「生きる力」を育む教育を推進する。

(2) 学校教育の施策の方向性・施策内容と学校再編

上記の基本方針を踏まえ、本市が取り組む学校教育施策の方向性及び各施策は、「市教育大綱」において次のとおり定めており、これらを推進するためには、望ましい学校規模・学校配置を実現することが重要な推進力になるものと考えます。

<市教育大綱が定める学校教育施策の方向性>

施策1 確かな学力を育む教育の推進

施策内容 ・授業力向上と確かな学力の育成

- ・読書活動、福祉、環境、国際理解、英語教育、情報教育の推進
- ・特別の支援を必要とする児童生徒への適切な教育の充実・推進
- ・円滑な就学を図るための保育所・認定こども園、小学校、中学校の連携推進
- ・小中一貫教育の検討・推進
- ・経済的な理由による就学困難者への就学支援の推進
- ・各種講師の配置によるきめ細やかな教育の推進

施策2 健やかな心身を育む教育の推進

施策内容 ・ふるさと教育、キャリア教育、体験学習、芸術文化活動の推進

- ・社会性、自立心、規範意識、思いやりの心を育む教育の推進
- ・自己実現に向けて主体的に取り組む児童生徒の育成
- ・児童生徒指導及びいじめ・不登校等への対応と相談支援体制の充実
- ・人権教育、平和教育、主権者教育の推進
- ・体力づくり、健康教育及び食育の推進
- ・中学校部活動等の適切な推進

- ・安全安心な学校給食の提供
- ・家庭、PTA、地域との連携推進

施策3 多様なニーズに応える教職員の育成

- 施策内容
- ・校内研修、個人研修、派遣研修の充実と効果的な研修の推進
 - ・教員の情報活用能力向上と教材開発の推進
 - ・教員多忙化解消の推進

施策4 安全安心な学校づくりと学校教育環境の整備

- 施策内容
- ・学校施設の長寿命化計画の策定及び計画的な改修並びに教材備品の整備、充実
 - ・学校防災体制の整備、推進
 - ・安全教育の推進と安全管理の徹底
 - ・通学等の安全確保
 - ・学校給食センターの施設整備

施策5 小中学校規模適正化の検討と対応

- 施策内容
- ・将来的な児童生徒の減少推計を踏まえた適正な学校規模の検討と対応

施策6 高等学校及び大学との連携推進

- 施策内容
- ・高等学校及び大学との連携と特色ある教育の推進

2 望ましい学校規模

望ましい学校規模については、規模の大小それぞれのメリット・デメリットを比較考察するとともに、教育環境面、指導体制面、学校運営面からの検討が必要であり、その結果として、次の2つの観点から望ましい学校規模を規定することが適切と考えます。

- ① 望ましい学級数
- ② 1学級当たりの望ましい児童生徒数

(1) 学校規模の大小に伴うそれぞれのメリットとデメリット

文部科学省は「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引き（平成27年1月作成）」において、小規模校と大規模校について、参考資料（26ページ）のとおり、それぞれのメリットとデメリットをとりまとめています。

また、「市統廃合審議会」においても、市内小中学校教職員との意見交換会等を通じて、現場の声を聞き、協議・検討を重ねられました。

大規模校・小規模校それぞれのメリット・デメリットは、相反する関係にあり、どちらが望ましいかという選択ではなく、本市としては、大規模・小規模それぞれのメリットを伸ばし、かつデメリットを低減できる「中規模校」が適切な規模と考えます。

(2) 学校における望ましい教育環境

これら「市統廃合審議会」の検討と文部科学省の手引きなどを踏まえ、本市の学校においては、次のような教育環境が確保されることが望ましいと考えます。

① 教育環境面

- ・ 人間関係の固定化等が生じないよう、クラス替えができる規模であること。
- ・ 学級活動や運動会等の学校行事において、一定の集団活動が確保される規模であること。
- ・ 児童生徒相互に適度な切磋琢磨が生じる規模であること。
- ・ 多様な価値観を持つ仲間とふれ合える規模であること。
- ・ 合唱活動や団体競技の体育授業ができる規模であること。

② 指導体制面

- ・ 教師一人当たりの児童生徒数が過大とならず、児童生徒一人一人に教師の目が行き届き、きめ細かな指導がしやすいよう、大規模とならない規模であること。
- ・ 新学習指導要領にも示されている「主体的・対話的で深い学び」を促す場として、グループによる学習等の多用な指導形態をとることができる規模であること。

③ 学校運営面

- ・ 教職員が互いに指導方法等を相談・研究できる規模であること。
- ・ 教職員が学校の教育目標や諸課題を共通理解できる規模であること。
- ・ 学級、学年運営を効果的に進めることができる規模であること。

(3) 小矢部市における望ましい学校規模

以上のことを踏まえ、かつ、本市の地理的状況等を総合的に考慮し、望ましい学校規模を次のとおりとします。

① 望ましい学級数

<小学校> 1 学年 1 学級以上、学校全体で 6 学級以上

望ましい学級数を考えた場合、小学校では、まず複式学級を解消するためには少なくとも 1 学年 1 学級以上（6 学級以上）であることが望ましいと考えます。

<中学校> 1 学年 2 学級以上を維持できる規模

より大きな集団活動ができ、また全教科の教員の確保等の観点から、できれば 1 学年 3 学級以上が望ましいが、本市の地理的特性、生徒数の分布状況、通学距離、地域バランスと地域理解、小学校と中学校との再編の整合性等を総合的に勘案し、本市では 1 学年 2 学級を維持できる規模が望ましいと考えます。

② 1学級当たりの望ましい児童生徒数

＜小中学校共＞ 1学級当たり20人から30人程度
ただし、当面、多くても全学級35人を超えないこと
学習面ではグループ学習等による授業が成り立ち、多様な意見にふれることにより、対話的で深い学びができること、また、指導面では委員会等の学級活動が成り立つことが望ましく、そのためには少なくとも20人程度の規模が必要と考えます。一方、教師の目が一人一人の児童生徒に行き届き、きめ細かな指導が行われるためには、30人程度までが適切であり、多くても全学級35人を超えないことが望ましいと考えます。

3 望ましい学校再編

学校再編は、望ましい学校規模の実現を主として推進されるとともに、本市の地理的特性や地域バランス、通学距離等を総合的に勘案して判断することが適切と考えます。

(1) 望ましい学校再編の観点

望ましい学校再編の判断については、次の観点から行います。

① 望ましい学校規模の実現

以下の②～⑤に配慮するとともに、児童生徒数の今後の予測を踏まえ、望ましい学校規模の実現を考慮します。

② 児童生徒の通学距離・通学時間・通学の安全

再編によって、通学距離が遠くなりすぎないこと、通学時間（バス乗車時間を含む。）が長くなりすぎないこと、通学の安全性が保たれる等の点を考慮します。

③ 市の地理的特性、地域バランス等と地域の理解

縦長に伸びている本市の地理的特性、市域全体の均衡ある発展と学校の間接関係を踏まえた地域バランス、地域の歴史文化と地域コミュニティ形成に果たす学校の役割、地域住民の理解との関係等も考慮します。

④ 小学校再編と中学校再編との整合性

小学校の再編と中学校の再編とが整合性を有することは不可欠であり、小学校・中学校全体の配置を考慮します。

⑤ 校舎等の位置と財政的視点

本市財政への過度な負担とならないよう検討します。

(2) 望ましい学校再編についての基本的留意点

学校再編を進めるにあたっては、学校施設の状況を把握し、既存の学校施設・設備を最大限有効活用するとともに、地域振興や防災対策のあり方、「小矢部市公共

施設再編計画（平成30年策定）」等との整合性を図りながら進めます。

(3) 通学区域の考え方

本市は昭和54年の小学校再編において、当時薮波小学校区の一部の地区を分割し津沢小学校へ、また、昭和59年の中学校再編において、石動中学校区の一部の地区を分割し大谷中学校へ再編した経緯があります。

しかし、校区を分割することは、再編の移行期において、在校中に別の学校へ移ることになる児童生徒の負担が大きいことから、今回の学校再編においては、現校区の分割は採らないこととします。

第3章 学校再編の具体的な方向性

1 児童生徒数の推移

(1) 児童生徒数のこれまでの推移

本市では、昭和53年度以降、児童生徒数は、図表1（17ページ）のとおり推移してきました。

昭和58年度までは児童生徒数の増加がみられたものの、昭和58年度から平成15年度頃までは急激な減少が続き、4,969人が2,756人へと44%の減少が生じました。平成20年度から平成30年度においては、2,756人が1,987人となり、減少率は緩和傾向にあるものの、率にして28%の減少となっています。

(2) 児童生徒数・学級数の今後の予測

国立社会保障・人口問題研究所の最新の推計モデル「日本の地域別将来推計人口（令和5年推計）」を用い、小中学校の学年別児童生徒数を推計しました。

ただし、令和6年度は実数が把握できるため、令和6年度の6歳から14歳は令和6年4月1日現在の学校別児童生徒数を用い、令和6年度の0歳から5歳は令和6年度の将来6ヵ年・12ヵ年就学予定者数を用いました。なお、令和7年度以降は校区別人口推計の出生や死亡、人口移動を用いて推計しました。（図表2（18ページ））

(3) 各学校別の児童生徒数・学級数の予測の分析

① 石動小学校

1学級当たりの児童数については、現状は平均26～33人で、令和17年度には平均23～26人となり、令和24年度には第1学年の1学級当たりの児童数が20人未満となることを見込まれます。

学級数については、現状は全学年2学級で、今後22年間は全学年2学級が継続し、令和32年度には第5学年を除き1学級となる見込みです。

② 東部小学校

1学級当たりの児童数については、現状は9～20人で、令和11年度には第1学年4人、令和12年度には第1学年・第2学年共4人となり、令和19年には全学年10人未満となる見込みです。

学級数については、現状は全学年1学級で、令和12年度には複式学級が発生する見込みです。

③ 大谷小学校

1学級当たりの児童数については、現状は平均22～30人で、令和29年度からは第1学年の児童数が30人未満となることを見込まれます。

学級数については、現状は全学年2学級で、令和13年度までは全学年2学級が継続しますが、令和18年度には全学年1学級となる見込みです。

④ 蟹谷小学校

1 学級当たりの児童数については、現状は24～31人で、令和10年度からは第1学年の児童数が20人未満となることが見込まれます。令和15年度には全学年20人未満となることが見込まれ、その後も全学年20人未満が継続する見込みです。

学級数については、現状は全学年1学級で、今後も全学年1学級が継続する見込みです。

⑤ 津沢小学校

1 学級当たりの児童数については、現状は平均20～33人で、令和14年度からは第1学年の児童数が20人未満となることが見込まれます。令和23年度には全学年20人未満となることが見込まれ、その後も全学年20人未満が継続する見込みです。

学級数については、現状は第5学年・第6学年が2学級、他の学年が1学級で、令和8年度からは全学年1学級となり、その後も全学年1学級が継続する見込みです。

⑥ 石動中学校

1 学級当たりの生徒数については、現状は平均36～38人で、令和19年度からは全学年平均30人未満となることが見込まれ、その後も全学年20人未満が継続する見込みです。

学級数については、現状は全学年2学級で、今後も全学年2学級が継続する見込みです。

⑦ 大谷中学校

1 学級当たりの生徒数については、現状は平均27～28人で、令和21年度には全学年1学級となることが見込まれ、その後も全学年1学級で30人程度の生徒数が継続する見込みです。

学級数については、現状は全学年2学級で、令和21年度からは全学年1学級となることが見込まれ、その後も全学年1学級が継続する見込みです。

⑧ 蟹谷中学校

1 学級当たりの生徒数については、現状は28～34人で、令和16年度からは第1学年の生徒数が20人未満となることが見込まれます。令和18年度には全学年20人未満となることが見込まれ、その後も全学年20人未満が継続する見込みです。

学級数については、現状は全学年1学級で、今後も全学年1学級が継続する見込みです。

⑨ 津沢中学校

1 学級当たりの生徒数については、現状は平均20～23人で、令和23年度には全学年20人未満となり、その後も全学年20人未満が継続する見込みです。

学級数については、現状は全学年2学級で、令和11年度には全学年1学級とな

り、その後も全学年1学級が継続する見込みです。

2 各学校施設の整備・改修状況と教室数

各小中学校施設の整備・改修状況、教室数は次のとおりです。(詳細は、図表3(24ページ))

- ① 石動小学校
 - ・整備年 平成26年 整備経過年数 10年経過
 - ・普通教室数 19室
- ② 東部小学校
 - ・整備年 昭和34年 整備経過年数 65年経過
 - ・前回大規模改修実施年 平成25年
 - ・直近大規模改修後経過年数 11年経過
 - ・普通教室数 11室
- ③ 大谷小学校
 - ・整備年 昭和41年 整備経過年数 58年経過
 - ・前回大規模改修実施年 平成25年
 - ・直近大規模改修後経過年数 11年経過
 - ・普通教室数 18室
- ④ 蟹谷小学校
 - ・整備年 昭和54年 整備経過年数 45年経過
 - ・前回大規模改修実施年 平成14年
 - ・直近大規模改修後経過年数 22年経過
 - ・普通教室数 11室
- ⑤ 津沢小学校
 - ・整備年 昭和56年 整備経過年数 43年経過
 - ・前回大規模改修実施年 平成17年
 - ・直近大規模改修後経過年数 19年経過
 - ・普通教室数 19室
- ⑥ 石動中学校
 - ・整備年 昭和59年 整備経過年数 40年経過
 - ・前回大規模改修実施年 未実施
 - ・普通教室数 16室
- ⑦ 大谷中学校
 - ・整備年 昭和59年 整備経過年数 40年経過
 - ・前回大規模改修実施年 未実施
 - ・普通教室数 10室
- ⑧ 蟹谷中学校
 - ・整備年 平成元年 整備経過年数 35年経過
 - ・前回大規模改修実施年 未実施
 - ・普通教室数 9室

- ⑨ 津沢中学校 ・整備年 平成元年 整備経過年数 35年経過
・前回大規模改修実施年 未実施
・普通教室数 8室

3 具体的な学校再編と実施目標時期

(1) 具体的な学校再編

前述の「第2章 学校再編の基本的な考え方」及び児童生徒数・学級数予測を踏まえた結果、次の学校再編が適切と考えます。

① 東部小学校を石動小学校へ統合

- ＜理由＞・東部小学校は、ここ数年で児童数の減少がさらに進み、令和12年度には第1学年と第2学年で複式学級となることが見込まれます。また、校区内の直近の出生数において、1学級当たりの平均児童数において、望ましい学級人数を確保できなくなる。
- ・両小学校は、共に石動中学校校区内にあり、両校の統合が適切である。
 - ・東部小学校と石動小学校との距離は約3kmと比較的距離が近く、現東部小学校区の児童の通学距離が極端に長くない。
 - ・石動小学校は、平成25年度新築整備であり、今後の耐用年数が長い。
 - ・現石動小学校校舎は全学年の2学級編制が可能となる規模を有しており、再編のための校舎改修を要しない。

※なお、小中学校は児童生徒の教育のための施設であるだけでなく、各地域のコミュニティの核としての性格を有することが多く、防災、保育、地域の交流の場等、様々な機能を併せ持っています。また、学校教育は地域の未来の担い手である子供たちを育む営みでもあり、まちづくりの在り方と密接不可分であるという性格も持っています。本市では、小学校は地域との関わりを深める大事な拠点であると考えていることから、他の小学校については、複式学級になるまで再編は行わないこととします。

② 市内中学校1校に統合

- ＜理由＞・中学校は、小学校よりさらに人間関係を大切にし、クラス替えができ、いろいろな生徒や教員と接することにより、価値観の多様化を図ることが望ましいと考えられる。
- ・生徒数の推計では、令和18年度に、蟹谷中学校で全学年の生徒数が20人未満となることが見込まれ、また、津沢中学校においても生徒数が20人未満となる学年の発生が見込まれることから、その時期に市全体で1中学校への統合を検討する必要があると考えられる。
 - ・市全体で1中学校とする場合は、適切な通学距離を確保することを前提としたうえで、校舎の位置を決定し、新設することが望ましいこと、また、規模に見合った校舎・グラウンド等の整備費、用地費、スクールバス費用等、多額な費用を伴うことから、長期的な財政計画が必要と考えられる。

【参考】

なお、答申では、小学校の再編について「蟹谷小学校と津沢小学校とを統合」、中学校の再編について「蟹谷中学校と津沢中学校とを統合」の再編案が示され、また、「蟹谷中学校を石動中学校へ統合し、津沢中学校を大谷中学校へ統合する案」についても検討されました。

【蟹谷小学校と津沢小学校とを統合】

＜理由＞

- ・蟹谷小学校は既に全学年単級であり、今後も単級が継続すると見込まれること、また、津沢小学校はここ数年で単級となり、そのまま単級が継続すると見込まれることから、共に単級が継続する両校の統合が適切である。
- ・通学区域の地理的状況からみて、両校の統合が適切である。
- ・蟹谷地区と津沢地区とを一体とした効果的な教育環境を作る視点が望ましく、両校の統合が適切である。

※なお、協議の過程において、次の別意見がありましたので付記します。

＜付記＞

- ・蟹谷小学校、津沢小学校共に、今後とも1学年平均20人程度の学級が維持され続けると見込まれることから、両校の統合は慌てなくてもよい。

【蟹谷中学校と津沢中学校とを統合】

＜理由＞

- ・蟹谷中学校は令和3年には全学年単級、津沢中学校も近い将来全学年単級となり、そのまま単級が継続すると見込まれることから、共に単級となる両校の再編が望ましい。
- ・市内どの中学校も、今後40年間は1学年2学級を維持できる。
- ・小矢部市の地理的状況、地域バランス、歴史等に配慮した再編となり、再編への理解を比較的得られやすい。
- ・蟹谷小学校と津沢小学校との再編と整合性のとれた再編となる。

【蟹谷中学校を石動中学校へ統合、津沢中学校を大谷中学校へ統合する案について】

協議の過程において、1学年3学級を実現する方策として、「蟹谷中学校を石動中学校に統合し、かつ、津沢中学校を大谷中学校に統合する」案についても検討しましたが、次の課題があることから、当審議会としては、蟹谷中学校と津沢中学校との統合が適切であるとの判断に至りました。

- ・蟹谷中学校を石動中学校に統合した場合、津沢中学校を大谷中学校に統合した場合、共に、蟹谷地区、津沢地区からの通学距離が遠くなりすぎる。
- ・津沢中学校を大谷中学校に統合しても、令和30年度頃には1学年2学級が生じ、1学年3学級を維持できず、両校を統合した理由が希薄になってしまう。
- ・小学校再編との整合性をとるためには、蟹谷小学校を石動小学校に統合し、かつ、津沢小学校を大谷小学校に統合する必要が生じ、小学生・中学生共に通学距離が

遠くなりすぎる。

- ・津沢、蟹谷両地区から共に小学校・中学校が無くなることは、市域全体からみた地域バランスが偏るとともに、両地区からの理解が得られにくい。

(2) 学校再編の実施目標時期

再編の実施目標時期は、下記のとおり設定することが適切と考えます。

① 東部小学校を石動小学校へ統合する目標時期とその理由

令和12年度までに実施

- ・東部小学校は、ここ数年で児童数の減少がさらに進み、令和12年度には第1学年と第2学年で複式学級となることが見込まれます。また、以後は、グループ学習による対話的授業や合唱・体育のチーム競技等の団体授業、学級活動・運動会等の集団活動が全学年で困難な状態が続くものと考えます。
- ・一定規模による適切な授業や学級活動等の集団活動を通じて社会性を育む教育を推進するうえで、望ましい学級人数を確保することが適切と考えます。
- ・保護者及び地域への丁寧な説明と理解を得るためには、一定の時間が必要と考えます。
- ・児童間の融和を図るためには、合同授業・合同行事等を行うための移行期間を設けることが望ましいと考えます。
- ・統合校の開校準備に必要な諸費用（通学バス増車等）に対応した計画的な財政運営に基づくことが必要と考えます。

以上の点から、東部小学校を石動小学校へ統合する時期は、令和12年度までに実施することが適切と考えます。

② 市内中学校1校への統合目標時期とその理由

令和18年度までに実施

- ・令和18年度に、蟹谷中学校で全学年の生徒数が20人未満となることが見込まれ、また、津沢中学校においても生徒数が20人未満となる学年の発生が見込まれます。
- ・全学年でクラス替えを可能とし、同学年に複数の教員を配置するためには、少なくとも1学年2学級以上（6学級以上）が必要となります。また、免許外指導をなくし、全ての授業で専門の免許を有する教員が学習指導をするためには、少なくとも9学級以上を確保することが望ましいと考えます。
- ・保護者及び地域への丁寧な説明を行い、理解を得るためには、一定の時間が必要と考えます。
- ・学校再編に伴う保護者及び地区住民の理解・協力を配慮すると共に、統合に向けた諸準備の期間、統合校の開校に必要な諸経費に対応した計画的な市財政運営を勘案し、令和18年度までに実施することが適切と考えます。

4 学校再編後の校舎の位置・校名等

次のように対応することが適切と考えます。

① 東部小学校を石動小学校へ統合

ア 校舎 現石動小学校校舎

- ・石動小学校は、平成25年度新築整備であり、今後の耐用年数が長い。
- ・現石動小学校校舎は、全学年2学級が入れる教室数を有しており、再編のための校舎改修を要しない。

イ 校名・校歌・校章・制服等

- ・現石動小学校のものを引き継ぐ。

② 市内中学校1校へ統合

ア 校舎 ・今後設置予定の(仮)学校再編推進地域協議会で協議し、校舎の状況、規模、統合校の建設の必要性等を踏まえ、再編実施の概ね10年前までに決定する。

イ 校名・校歌・校章・制服等

新規に制定

- ・市内中学校1校の統合再編であることを明確にするうえで、校名等を新規に制定することが適切なことから、今後設置予定の(仮)学校再編推進地域協議会で協議し、決定する。

5 各学校再編実施に向けた取り組み

(1) 通学バス増便による通学手段・適切な通学時間の確保

再編によって、通学距離が遠くなる校区については、次のとおり「再編に伴う通学手段の原則」を定め、通学時間（バス乗車時間を含む。）が長くないよう、次のとおり、通学バスの増車により、適切な通学手段を確保します。

また、徒歩通学の通学路の変更や自転車通学の経路が変更となる場合も生じることから、通学路の安全対策について、関係機関との連携により、十分な配慮と対策を講じるものとします。

再編に伴う通学手段の原則

- ・小学生の徒歩通学 2 km未満まで
- ・中学生の自転車通学 5 km未満まで
- ・小学生の遠距離通学バス 2 kmから（原則、乗車時間30分以内）
- ・中学生の遠距離通学バス 5 kmから（原則、乗車時間30分以内）

※通学距離：小学校でおおむね4 km以内、中学校でおおむね6 km以内が基準

「義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律施行令」

① 東部小学校を石動小学校へ統合の場合

通学バスを1台、増車

② 市内中学校1校へ統合の場合

通学バスを複数台、整備（台数については、統合校の場所を決定する際に決めます。）

なお、現在の通学バスの運行状況及び再編によって追加となるルート・最長乗車時間・必要な経費の試算は、統合校の場所を決定する際に決めます。

(2) 放課後児童クラブの整備

小学校の再編に伴い、放課後児童クラブへの登録児童数が増加し、現在の施設では収容困難となることも予想されます。

このため、今後、必要な規模の放課後児童クラブ室（棟）の整備を検討します。

(3) 「(仮)学校再編推進地域協議会」の設置

2つの再編それぞれに「(仮)学校再編推進地域協議会」を設置します。

主な構成員は、保護者、教育後援会等の地域関係者、学校、市教育委員会等です。

同協議会は、統合後の学校の教育方針案について協議し、統合後の学校も地域に支えられた学校となるよう、保護者・地域の方々の共通理解を形成する場としての役割をもつものです。

(4) 「(仮)学校再編準備委員会」の設置と合同授業等の実施

2つの再編それぞれに「(仮)学校再編準備委員会」を設置します。

主な構成員は、教職員、市教育委員会です。

同委員会は、上記の地域協議会で協議していただくための統合校の学校教育方針案を作成します。

また、児童生徒間の融和のために、再編を行う数年前から合同学習・合同行事などに取り組むことが適切であり、そのための具体的方策等を検討し、推進する場となります。

(5) 長期財政計画の策定

上記の学校再編に向けた諸準備に伴う経費と共に、再編に伴う財政的影響や生徒が安全で快適な学校生活を送るために必要となる中学校の修繕工事、統合中学校を建設する場合の費用等の主要課題に対応できる長期的な財政計画を策定し、計画的な財政運営のもと、再編に取り組みます。

6 学校再編に伴う影響

(1) 防災面での影響と対応

現在、本市では、市地域防災計画において、各学校施設も避難所・避難場所に指定しており、学校再編に伴い、学校施設が解体・廃止された場合は、防災対策上、

次の影響が生じます。

- ・ 体育館解体の場合 避難所の減少（避難収容人数の減少）
- ・ グラウンド廃止の場合 避難場所の減少

その対応策としては、民間事業所施設や地区公民館等に対し、代替施設として協力を依頼することが必要となりますが、当該地域内に代替施設が確保できない場合は、避難所として体育館、避難所としてグラウンドを存置することが必要と考えられることから、当該地域内の代替施設確保の可否について、具体的な調査を行うものとしします。

(2) 公民館事業・地域行事等への影響と対応

学校は地域の核としての役割を担っており、その再編のあり方は、地域住民の方々にとって極めて重要な課題と考えます。

再編後においても、地域の文化・伝統・人材を活かした学習活動は、ふるさとに学び、ふるさと愛を育てるうえでも不可欠であり、また、公民館事業や地域行事への児童生徒の参加は、学校と地域との相互連携・協力を深め、地域に支えられ、地域と一体となった学校運営の推進にとって大きな力になるものと考えます。

再編後の学校においても、これらの地域の諸事業・行事等への児童生徒の積極的な参加を促していきます。

(3) スポーツ少年団・社会活動団体・地域活動への影響と対応

学校は、スポーツ少年団・社会活動団体(社会体育団体・おやベスポーツクラブ等)の活動場、地区運動会等の地域活動の場としても重要な役割を果たしています。

学校再編に伴い、体育館が解体、又はグラウンドが廃止された場合は、これまでの活動場所が無くなることになります。

充実感のある暮らしや健康な市民生活のために、スポーツ活動の場は、可能な限り確保することが必要であり、対応として、統合後の学校施設に活動場所を移すことやチームを統合する等の方策が考えられますが、そのような対応が多くの困難や不便を伴う場合は、体育館やグラウンドを存置することが必要と考えます。

7 各学校施設の対応

(1) 再編対象外の学校施設の対応

今回の再編対象外とする各学校施設については、それぞれ次の対応が必要と考えます。

① 大谷小学校

国の長寿命化改良事業等の適用要件等を踏まえ、次の大規模改造又は改築が見込まれるまでの間、適切に維持管理を行う。

② 蟹谷小学校

国の長寿命化改良事業等の適用要件等を踏まえ、次の大規模改造又は改築が見

込まれるまでの間、適切に維持管理を行う。

③ 津沢小学校

国の長寿命化改廃事業等の適用要件等を踏まえ、次の大規模改造又は改築が見込まれるまでの間、適切に維持管理を行う。

(2) 再編対象の学校施設の対応

再編対象とする学校施設については、それぞれ次の対応が必要と考えます。

① 石動小学校

平成25年度新築整備であり、次回長寿命化改廃事業が見込まれるまでの間、適切な維持管理を行う。

② 東部小学校

石動小学校への統合までの間、適切な維持管理を行う。

③ 石動中学校

市内1中学校へ統合までの間、生徒が安全で快適な学校生活を送るために必要となる修繕を行う。

④ 大谷中学校

市内1中学校へ統合までの間、生徒が安全で快適な学校生活を送るために必要となる修繕を行う。

⑤ 蟹谷中学校

市内1中学校へ統合までの間、生徒が安全で快適な学校生活を送るために必要となる修繕を行う。

⑥ 津沢中学校

市内1中学校へ統合までの間、生徒が安全で快適な学校生活を送るために必要となる修繕を行う。

8 再編後の各学校施設の活用・処分

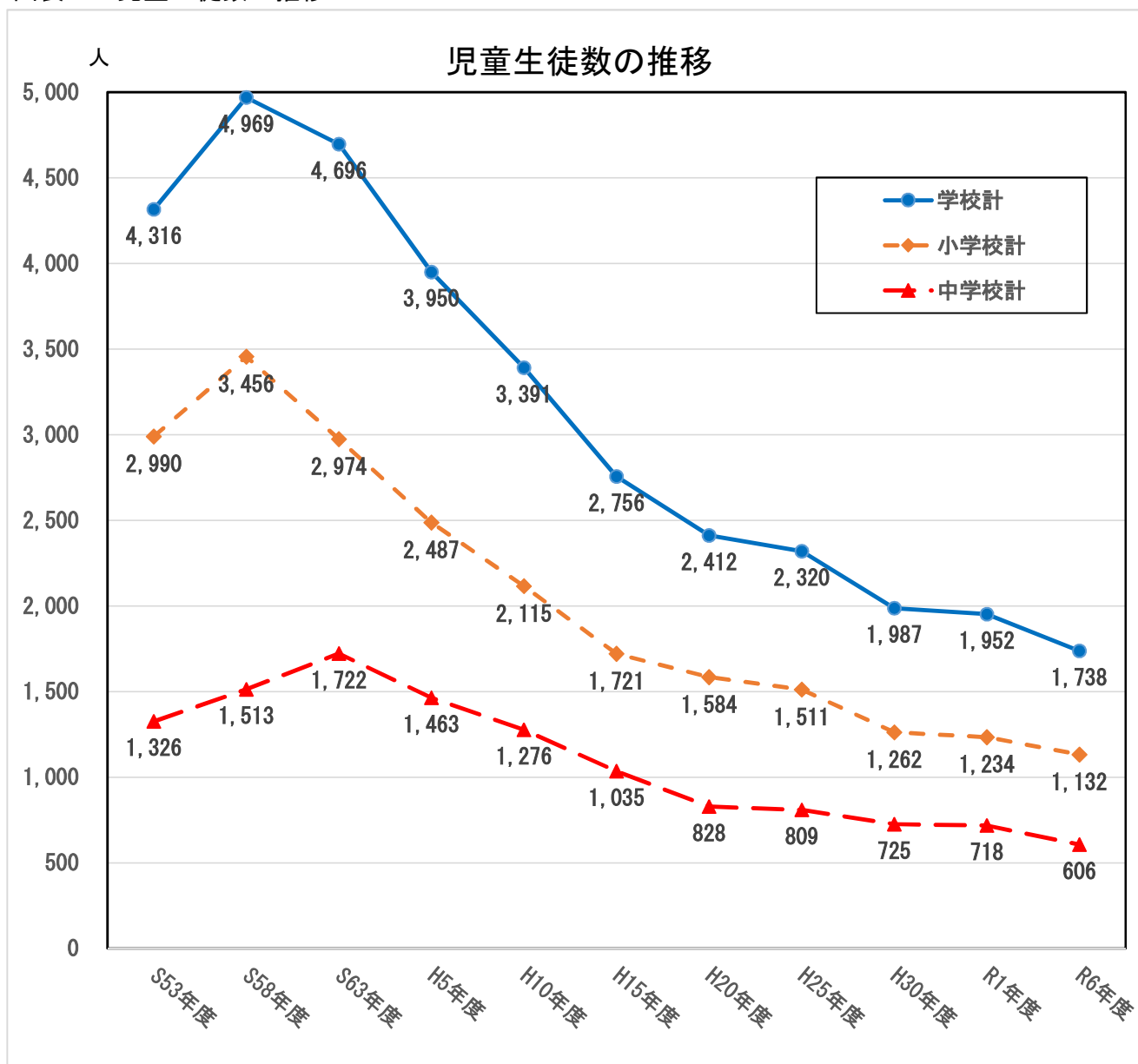
再編後に学校施設で無くなる諸施設については、

- ① 解体・廃止して別の用途に活用する。
- ② 校舎の一部を解体し、かつ一部を改修して別の用途に活用する。
- ③ 体育館・グラウンドは存置しての現在の利用を継続する。

等の対応案が考えられるところです。

再編後の各施設の具体的な処分・活用方法は、再編実施前までに決定するものとします。

図表 1 児童生徒数の推移



単位：人

学校名	1978年	1983年	1988年	1993年	1998年	2003年	2008年	2013年	2018年	2019年	2024年
	S53年度	S58年度	S63年度	H5年度	H10年度	H15年度	H20年度	H25年度	H30年度	R1年度	R6年度
石動小学校	1,105	1,125	895	783	733	582	513	472	373	353	345
東部小学校	395	416	329	282	214	181	173	140	100	100	86
大谷小学校	555	746	672	559	483	430	433	438	352	346	323
蟹谷小学校	421	566	521	399	326	245	211	214	187	182	165
津沢小学校	514	603	557	464	359	283	254	247	250	253	213
小学校計	2,990	3,456	2,974	2,487	2,115	1,721	1,584	1,511	1,262	1,234	1,132
石動中学校	826	893	759	614	544	468	375	353	297	296	221
大谷中学校	118	137	381	324	289	229	214	211	190	184	164
蟹谷中学校	183	219	281	249	195	163	113	109	114	116	93
津沢中学校	199	264	301	276	248	175	126	136	124	122	128
中学校計	1,326	1,513	1,722	1,463	1,276	1,035	828	809	725	718	606
学校計	4,316	4,969	4,696	3,950	3,391	2,756	2,412	2,320	1,987	1,952	1,738

※昭和53年度から平成15年度の石動小学校の児童数は、岩尾滝小学校の児童数を含む。

昭和53年度の蟹谷小学校の児童数は、北蟹谷小学校、東蟹谷小学校、藪波小学校の合わせた児童数。

昭和53年度の津沢小学校の児童数は、水島小学校の児童数を含む。

昭和53年度と58年度の石動中学校の生徒数は、再編前の石動中学校の生徒数で岩尾滝中学校の生徒数を含む。

昭和53年度と58年度の大谷中学校の生徒数は、若林中学校の生徒数。

※児童生徒数は各年5月1日現在の数値に基づく。

図表2 学校別の児童生徒数・学級数の推移と予測

①小学校

単位：人、学級

		小学 1年生		小学 2年生		小学 3年生		小学 4年生		小学 5年生		小学 6年生		小学校計		答申時		答申時との差		教員数
		児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	
石動小学校	令和元年度	55	2	62	2	52	2	66	2	67	2	51	2	353	12	353	12	0	0	13
	令和2年度	55	2	55	2	64	2	52	2	66	2	67	2	359	12	359	12	0	0	13
	令和3年度	60	2	56	2	55	2	64	2	53	2	66	2	354	12	348	12	6	0	13
	令和4年度	66	2	61	2	53	2	55	2	63	2	53	2	351	12	349	12	2	0	13
	令和5年度	50	2	66	2	61	2	54	2	55	2	64	2	350	12	348	12	2	0	13
	令和6年度	57	2	51	2	66	2	61	2	54	2	56	2	345	12	344	12	1	0	13
	令和7年度	73	3	57	2	51	2	66	2	61	2	54	2	362	13	355	12	7	1	14
	令和8年度	64	2	73	3	57	2	51	2	66	2	60	2	371	13					14
	令和9年度	60	2	64	2	73	3	57	2	51	2	66	2	371	13					14
	令和10年度	55	2	60	2	64	2	73	3	57	2	51	2	360	13					14
	令和11年度	79	3	55	2	61	2	64	2	74	3	57	2	390	14					15
	令和12年度	52	2	80	3	56	2	61	2	65	2	74	2	388	13	355	12	33	1	14
	令和13年度	49	2	52	2	80	3	56	2	61	2	63	2	361	13					14
	令和14年度	44	2	49	2	52	2	80	3	56	2	61	2	342	13					14
	令和15年度	44	2	44	2	49	2	52	2	80	3	56	2	325	13					14
	令和16年度	45	2	45	2	45	2	49	2	52	2	80	2	316	12					13
	令和17年度	45	2	45	2	45	2	45	2	49	2	52	2	281	12	336	12	△55	0	13
	令和18年度	45	2	45	2	45	2	45	2	45	2	48	2	273	12					13
	令和19年度	41	2	45	2	45	2	45	2	45	2	45	2	266	12					13
	令和20年度	41	2	41	2	45	2	45	2	45	2	45	2	262	12					13
	令和21年度	42	2	42	2	42	2	45	2	45	2	45	2	261	12					13
	令和22年度	42	2	42	2	42	2	42	2	45	2	45	2	258	12	321	12	△63	0	13
	令和23年度	42	2	42	2	42	2	42	2	42	2	44	2	254	12					13
	令和24年度	37	2	42	2	42	2	42	2	42	2	42	2	247	12					13
	令和25年度	37	2	37	2	42	2	42	2	42	2	42	2	242	12					13
	令和26年度	38	2	38	2	38	2	42	2	42	2	42	2	240	12					13
	令和27年度	38	2	38	2	38	2	38	2	42	2	42	2	236	12	306	12	△70	0	13
	令和28年度	38	2	38	2	38	2	38	2	38	2	41	2	231	12					13
	令和29年度	33	1	38	2	38	2	38	2	38	2	38	1	223	10					11
	令和30年度	33	1	33	1	38	2	38	2	38	2	38	1	218	9					10
	令和31年度	33	1	33	1	33	1	38	2	38	2	38	1	213	8					9
	令和32年度	33	1	33	1	33	1	33	1	38	2	38	1	208	7	294	12	△86	△5	8
東部小学校	令和元年度	21	1	16	1	18	1	8	1	20	1	17	1	100	6	100	6	0	0	7
	令和2年度	11	1	20	1	17	1	18	1	8	1	20	1	94	6	94	6	0	0	7
	令和3年度	14	1	11	1	20	1	17	1	18	1	8	1	88	6	86	6	2	0	7
	令和4年度	19	1	13	1	11	1	19	1	17	1	18	1	97	6	94	6	3	0	7
	令和5年度	9	1	19	1	13	1	11	1	19	1	17	1	88	6	83	6	5	0	7
	令和6年度	16	1	9	1	19	1	11	1	11	1	20	1	86	6	79	6	7	0	7
	令和7年度	7	1	16	1	9	1	19	1	11	1	11	1	73	6	66	6	7	0	7
	令和8年度	9	1	7	1	16	1	9	1	19	1	11	1	71	6					7
	令和9年度	6	1	9	1	7	1	16	1	9	1	19	1	66	6					7
	令和10年度	11	1	6	1	9	1	7	1	16	1	9	1	58	6					7
	令和11年度	4	1	11	1	6	1	9	1	7	1	16	1	53	6					7
	令和12年度	4	-	4	1	11	1	6	1	9	1	7	1	41	5	63	6	△22	△1	5
	令和13年度	10	1	4	-	4	1	11	1	6	1	9	1	44	5					5
	令和14年度	9	1	10	1	4	-	4	1	11	1	6	1	44	5					5
	令和15年度	9	1	9	1	10	1	4	-	4	1	11	1	47	5					5
	令和16年度	9	1	9	1	9	1	10	1	4	-	4	1	45	5					5
	令和17年度	9	1	9	1	9	1	9	1	10	1	4	1	50	6	63	6	△13	0	7
	令和18年度	9	1	9	1	9	1	9	1	9	1	10	1	55	6					7
	令和19年度	8	1	9	1	9	1	9	1	9	1	9	1	53	6					7
	令和20年度	8	1	8	1	9	1	9	1	9	1	9	1	52	6					7
	令和21年度	8	1	8	1	8	1	9	1	9	1	9	1	51	6					7
	令和22年度	9	1	9	1	9	1	9	1	9	1	9	1	54	6	60	6	△6	0	7
	令和23年度	9	1	9	1	9	1	9	1	9	1	9	1	54	6					7
	令和24年度	7	1	9	1	9	1	9	1	9	1	9	1	52	6					7
	令和25年度	7	-	7	1	9	1	9	1	9	1	9	1	50	5					5
	令和26年度	8	1	8	1	8	1	9	1	9	1	9	1	51	6					7
	令和27年度	8	1	8	1	8	1	8	1	9	1	9	1	50	6	57	6	△7	0	7
	令和28年度	8	1	8	1	8	1	8	1	8	1	8	1	48	6					7
	令和29年度	7	-	8	1	8	1	8	1	8	1	8	1	47	5					5
	令和30年度	7	-	7	1	8	1	8	1	8	1	8	1	46	5					5
	令和31年度	7	-	7	1	7	-	8	1	8	1	8	1	45	4					4
	令和32年度	7	-	7	1	7	-	7	1	8	1	8	1	44	4	54	6	△10	△2	4

		小学 1年生		小学 2年生		小学 3年生		小学 4年生		小学 5年生		小学 6年生		小学校計		答申時		答申時との差		教員数
		児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	
大谷小学校	令和元年度	57	2	58	2	56	2	58	2	64	2	53	2	346	12	346	12	0	0	13
	令和2年度	54	2	57	2	58	2	56	2	58	2	65	2	348	12	344	12	4	0	13
	令和3年度	58	2	53	2	57	2	59	2	56	2	58	2	341	12	342	12	△1	0	13
	令和4年度	61	2	58	2	52	2	57	2	59	2	56	2	343	12	351	12	△8	0	13
	令和5年度	55	2	60	2	59	2	52	2	57	2	60	2	343	12	350	12	△7	0	13
	令和6年度	43	2	55	2	60	2	57	2	51	2	57	2	323	12	335	12	△12	0	13
	令和7年度	54	2	43	2	55	2	60	2	57	2	51	2	320	12	329	12	△9	0	13
	令和8年度	43	2	54	2	43	2	55	2	60	2	56	2	311	12					13
	令和9年度	49	2	43	2	54	2	43	2	55	2	60	2	304	12					13
	令和10年度	50	2	49	2	43	2	54	2	43	2	55	2	294	12					13
	令和11年度	44	2	50	2	49	2	43	2	54	2	43	2	283	12					13
	令和12年度	55	2	45	2	51	2	50	2	43	2	55	2	299	12	320	12	△21	0	13
	令和13年度	39	2	55	2	45	2	51	2	50	2	42	2	282	12					13
	令和14年度	34	1	39	2	55	2	45	2	51	2	50	2	274	11					12
	令和15年度	35	1	35	1	39	2	55	2	45	2	51	2	260	10					11
	令和16年度	35	1	35	1	35	1	39	2	55	2	45	2	244	9					10
	令和17年度	35	1	35	1	35	1	35	1	39	2	55	2	234	8	312	12	△78	△4	9
	令和18年度	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	38	1	213	6					7
	令和19年度	32	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	207	6					7
	令和20年度	33	1	33	1	35	1	35	1	35	1	35	1	206	6					7
	令和21年度	33	1	33	1	33	1	35	1	35	1	35	1	204	6					7
	令和22年度	33	1	33	1	33	1	33	1	35	1	35	1	202	6	300	12	△98	△6	7
	令和23年度	33	1	33	1	33	1	33	1	33	1	34	1	199	6					7
	令和24年度	30	1	33	1	33	1	33	1	33	1	33	1	195	6					7
	令和25年度	31	1	31	1	33	1	33	1	33	1	33	1	194	6					7
	令和26年度	31	1	31	1	31	1	33	1	33	1	33	1	192	6					7
	令和27年度	31	1	31	1	31	1	31	1	33	1	33	1	190	6	288	12	△98	△6	7
	令和28年度	31	1	31	1	31	1	31	1	31	1	32	1	187	6					7
	令和29年度	28	1	31	1	31	1	31	1	31	1	31	1	183	6					7
	令和30年度	28	1	28	1	31	1	31	1	31	1	31	1	180	6					7
	令和31年度	28	1	28	1	28	1	31	1	31	1	31	1	177	6					7
	令和32年度	28	1	28	1	28	1	28	1	31	1	31	1	174	6	276	12	△102	△6	7
蟹谷小学校	令和元年度	32	1	32	1	32	1	28	1	31	1	27	1	182	6	182	6	0	0	7
	令和2年度	30	1	32	1	32	1	32	1	28	1	31	1	185	6	186	6	△1	0	7
	令和3年度	29	1	28	1	31	1	32	1	32	1	28	1	180	6	183	6	△3	0	7
	令和4年度	27	1	29	1	27	1	31	1	32	1	32	1	178	6	185	6	△7	0	7
	令和5年度	25	1	28	1	30	1	28	1	31	1	33	1	175	6	178	6	△3	0	7
	令和6年度	24	1	25	1	27	1	30	1	28	1	31	1	165	6	169	6	△4	0	7
	令和7年度	26	1	24	1	25	1	27	1	30	1	28	1	160	6	163	6	△3	0	7
	令和8年度	22	1	26	1	24	1	25	1	27	1	29	1	153	6					7
	令和9年度	20	1	22	1	26	1	24	1	25	1	27	1	144	6					7
	令和10年度	14	1	20	1	22	1	26	1	24	1	25	1	131	6					7
	令和11年度	12	1	14	1	21	1	22	1	26	1	24	1	119	6					7
	令和12年度	13	1	12	1	15	1	21	1	22	1	26	1	109	6	158	6	△49	0	7
	令和13年度	18	1	14	1	12	1	15	1	21	1	22	1	102	6					7
	令和14年度	17	1	18	1	14	1	12	1	15	1	21	1	97	6					7
	令和15年度	17	1	17	1	18	1	14	1	12	1	15	1	93	6					7
	令和16年度	18	1	18	1	18	1	18	1	14	1	12	1	98	6					7
	令和17年度	18	1	18	1	18	1	18	1	18	1	14	1	104	6	153	6	△49	0	7
	令和18年度	18	1	18	1	18	1	18	1	18	1	18	1	108	6					7
	令和19年度	17	1	18	1	18	1	18	1	18	1	18	1	107	6					7
	令和20年度	17	1	17	1	18	1	18	1	18	1	18	1	106	6					7
	令和21年度	17	1	17	1	17	1	18	1	18	1	18	1	105	6					7
	令和22年度	17	1	17	1	17	1	17	1	18	1	18	1	104	6	147	6	△43	0	7
	令和23年度	17	1	17	1	17	1	17	1	17	1	17	1	102	6					7
	令和24年度	16	1	17	1	17	1	17	1	17	1	17	1	101	6					7
	令和25年度	16	1	16	1	17	1	17	1	17	1	17	1	100	6					7
	令和26年度	16	1	16	1	16	1	17	1	17	1	17	1	99	6					7
	令和27年度	16	1	16	1	16	1	16	1	17	1	17	1	98	6	141	6	△43	0	7
	令和28年度	16	1	16	1	16	1	16	1	16	1	17	1	97	6					7
	令和29年度	14	1	16	1	16	1	16	1	16	1	16	1	94	6					7
	令和30年度	14	1	14	1	16	1	16	1	16	1	16	1	92	6					7
	令和31年度	14	1	14	1	14	1	16	1	16	1	16	1	90	6					7
	令和32年度	15	1	15	1	15	1	15	1	16	1	16	1	92	6	135	6	△43	0	7

		小学 1年生		小学 2年生		小学 3年生		小学 4年生		小学 5年生		小学 6年生		小学校計		答申時		答申時との差		教員数
		児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	
津沢小学校	令和元年度	41	2	39	2	47	2	43	2	39	1	44	2	253	11	253	11	0	0	12
	令和2年度	50	2	41	2	38	2	47	2	43	2	39	1	258	11	257	11	1	0	12
	令和3年度	30	1	52	2	41	2	38	2	48	2	43	2	252	11	251	10	1	1	12
	令和4年度	32	1	31	1	52	2	40	2	38	2	46	2	239	10	239	9	0	1	11
	令和5年度	32	1	33	1	31	1	51	2	40	2	38	2	225	9	226	8	△1	1	10
	令和6年度	28	1	32	1	33	1	31	1	49	2	40	2	213	8	213	8	0	0	9
	令和7年度	31	1	28	1	32	1	33	1	31	1	49	2	204	7	203	7	1	0	8
	令和8年度	23	1	31	1	28	1	32	1	33	1	30	1	177	6					7
	令和9年度	25	1	23	1	31	1	28	1	32	1	33	1	172	6					7
	令和10年度	28	1	26	1	23	1	31	1	28	1	32	1	168	6					7
	令和11年度	23	1	28	1	26	1	23	1	31	1	28	1	159	6					7
	令和12年度	20	1	23	1	28	1	26	1	23	1	31	1	151	6	198	6	△47	0	7
	令和13年度	21	1	20	1	23	1	28	1	26	1	23	1	141	6					7
	令和14年度	19	1	21	1	20	1	23	1	28	1	26	1	137	6					7
	令和15年度	19	1	19	1	21	1	20	1	23	1	28	1	130	6					7
	令和16年度	19	1	19	1	19	1	21	1	20	1	23	1	121	6					7
	令和17年度	20	1	20	1	20	1	20	1	21	1	20	1	121	6	192	6	△71	0	7
	令和18年度	20	1	20	1	20	1	20	1	20	1	21	1	121	6					7
	令和19年度	19	1	20	1	20	1	20	1	20	1	20	1	119	6					7
	令和20年度	19	1	19	1	20	1	20	1	20	1	20	1	118	6					7
	令和21年度	19	1	19	1	19	1	20	1	20	1	20	1	117	6					7
	令和22年度	19	1	19	1	19	1	19	1	20	1	20	1	116	6	183	6	△67	0	7
	令和23年度	19	1	19	1	19	1	19	1	19	1	19	1	114	6					7
	令和24年度	17	1	19	1	19	1	19	1	19	1	19	1	112	6					7
	令和25年度	17	1	17	1	19	1	19	1	19	1	19	1	110	6					7
	令和26年度	18	1	18	1	18	1	19	1	19	1	19	1	111	6					7
	令和27年度	18	1	18	1	18	1	18	1	19	1	19	1	110	6	177	6	△67	0	7
	令和28年度	18	1	18	1	18	1	18	1	18	1	19	1	109	6					7
	令和29年度	16	1	18	1	18	1	18	1	18	1	18	1	106	6					7
	令和30年度	16	1	16	1	18	1	18	1	18	1	18	1	104	6					7
	令和31年度	16	1	16	1	16	1	18	1	18	1	18	1	102	6					7
	令和32年度	16	1	16	1	16	1	16	1	18	1	18	1	100	6	171	6	△71	0	7
小学校年度別合計	令和元年度	206	8	207	8	205	8	203	8	221	7	192	8	1,234	47	1,234	47	0	0	52
	令和2年度	200	8	205	8	209	8	205	8	203	8	222	7	1,244	47	1,240	47	4	0	52
	令和3年度	191	7	200	8	204	8	210	8	207	8	203	8	1,215	47	1,210	46	5	1	52
	令和4年度	205	7	192	7	195	8	202	8	209	8	205	8	1,208	46	1,218	45	△10	1	51
	令和5年度	171	7	206	7	194	7	196	8	202	8	212	8	1,181	45	1,185	44	△4	1	50
	令和6年度	168	7	172	7	205	7	190	7	193	8	204	8	1,132	44	1,140	44	△8	0	49
	令和7年度	191	8	168	7	172	7	205	7	190	7	193	8	1,119	44	1,116	43	3	1	49
	令和8年度	161	7	191	8	168	7	172	7	205	7	186	7	1,083	43					48
	令和9年度	160	7	161	7	191	8	168	7	172	7	205	7	1,057	43					48
	令和10年度	158	7	161	7	161	7	191	8	168	7	172	7	1,011	43					48
	令和11年度	162	8	158	7	163	7	161	7	192	8	168	7	1,004	44					49
	令和12年度	144	6	164	8	161	7	164	7	162	7	193	7	988	42	1,094	42	△106	0	46
	令和13年度	137	7	145	6	164	8	161	7	164	7	159	7	930	42					46
	令和14年度	123	6	137	7	145	6	164	8	161	7	164	7	894	41					45
	令和15年度	124	6	124	6	137	7	145	6	164	8	161	7	855	40					44
	令和16年度	126	6	126	6	126	6	137	7	145	6	164	7	824	38					42
	令和17年度	127	6	127	6	127	6	127	6	137	7	145	7	790	38	1,056	42	△266	△4	43
	令和18年度	127	6	127	6	127	6	127	6	127	6	135	6	770	36					41
	令和19年度	117	6	127	6	127	6	127	6	127	6	127	6	752	36					41
	令和20年度	118	6	118	6	127	6	127	6	127	6	127	6	744	36					41
	令和21年度	119	6	119	6	119	6	127	6	127	6	127	6	738	36					41
	令和22年度	120	6	120	6	120	6	120	6	127	6	127	6	734	36	1,011	42	△277	△6	41
	令和23年度	120	6	120	6	120	6	120	6	120	6	123	6	723	36					41
	令和24年度	107	6	120	6	120	6	120	6	120	6	120	6	707	36					41
	令和25年度	108	5	108	6	120	6	120	6	120	6	120	6	696	35					39
	令和26年度	111	6	111	6	111	6	120	6	120	6	120	6	693	36					41
	令和27年度	111	6	111	6	111	6	111	6	120	6	120	6	684	36	969	42	△285	△6	41
	令和28年度	111	6	111	6	111	6	111	6	111	6	117	6	672	36					41
	令和29年度	98	4	111	6	111	6	111	6	111	6	111	5	653	33					37
	令和30年度	98	4	98	5	111	6	111	6	111	6	111	5	640	32					36
	令和31年度	98	4	98	5	98	4	111	6	111	6	111	5	627	30					34
	令和32年度	99	4	99	5	99	4	99	5	111	6	111	5	618	29	930	42	△312	△13	33

※児童生徒数は、各年5月1日現在の数値に基づく。
ただし、令和7年度以降の児童生徒数は、国立社会保障・人口問題研究所の最新の推計モデル「日本の地域別将来推計人口（令和5（2023）年推計）」を用いた推計。
令和7年度以降の学級数は、1学年から5学年までを35人学級、6学年を40人学級として算出。

学校別の児童生徒数・学級数の推移と予測

②中学校

単位：人、学級

		中学 1年生		中学 2年生		中学 3年生		中学校計		答申時		答申時との差		教員数
		生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	
石動中学校	令和元年度	96	3	102	3	98	3	296	9	296	9	0	0	14
	令和2年度	68	2	95	3	103	3	266	8	266	8	0	0	13
	令和3年度	92	3	68	2	95	3	255	8	251	8	4	0	13
	令和4年度	76	3	91	3	69	2	236	8	229	8	7	0	13
	令和5年度	72	3	74	2	91	3	237	8	231	7	6	1	13
	令和6年度	73	2	72	2	76	2	221	6	222	7	△1	△1	10
	令和7年度	76	2	73	2	72	2	221	6	224	7	△3	△1	10
	令和8年度	64	2	74	2	71	2	210	6	222	6	△12	0	10
	令和9年度	69	2	62	2	73	2	204	6	212	6	△8	0	10
	令和10年度	86	3	67	2	61	2	214	7	219	7	△5	0	12
	令和11年度	61	2	86	3	66	2	212	7	209	7	3	0	12
	令和12年度	74	2	61	2	86	3	220	7	211	7	9	0	12
	令和13年度	79	2	72	2	59	2	210	6	202	7	8	△1	10
	令和14年度	70	2	77	2	70	2	218	6					10
	令和15年度	67	2	69	2	75	2	211	6					10
	令和16年度	67	2	67	2	67	2	202	6					10
	令和17年度	84	3	68	2	68	2	219	7	206	6	13	1	12
	令和18年度	55	2	82	3	66	2	203	7					12
	令和19年度	56	2	54	2	80	3	190	7					12
	令和20年度	54	2	55	2	52	2	162	6					10
	令和21年度	54	2	54	2	54	2	163	6					10
	令和22年度	54	2	54	2	54	2	163	6	198	6	△35	0	10
	令和23年度	53	2	53	2	53	2	159	6					10
	令和24年度	52	2	52	2	52	2	156	6					10
	令和25年度	51	2	51	2	51	2	152	6					10
	令和26年度	51	2	51	2	50	2	151	6					10
	令和27年度	51	2	51	2	51	2	152	6	190	6	△38	0	10
	令和28年度	50	2	50	2	50	2	149	6					10
	令和29年度	49	2	49	2	49	2	146	6					10
	令和30年度	45	2	47	2	47	2	140	6					10
	令和31年度	45	2	45	2	46	2	137	6					10
	令和32年度	46	2	46	2	46	2	137	6	180	6	△43	0	10
大谷中学校	令和元年度	60	2	57	2	67	2	184	6	184	6	0	0	10
	令和2年度	53	2	60	2	57	2	170	6	170	6	0	0	10
	令和3年度	61	2	53	2	60	2	174	6	177	6	△3	0	10
	令和4年度	54	2	61	2	53	2	168	6	175	6	△7	0	10
	令和5年度	54	2	56	2	61	2	171	6	178	6	△7	0	10
	令和6年度	55	2	53	2	56	2	164	6	172	6	△8	0	10
	令和7年度	57	2	55	2	53	2	165	6	171	6	△6	0	10
	令和8年度	50	2	56	2	54	2	160	6	166	6	△6	0	10
	令和9年度	55	2	49	2	55	2	159	6	170	6	△11	0	10
	令和10年度	60	2	53	2	48	2	161	6	180	6	△19	0	10
	令和11年度	55	2	61	2	52	2	168	6	184	6	△16	0	10
	令和12年度	43	2	56	2	61	2	160	6	165	6	△5	0	10
	令和13年度	53	2	42	2	54	2	149	6	149	6	0	0	10
	令和14年度	42	2	52	2	41	2	135	6					10
	令和15年度	50	2	41	2	51	2	142	6					10
	令和16年度	51	2	50	2	40	1	141	5					9
	令和17年度	45	2	51	2	50	2	146	6	161	6	△15	0	10
	令和18年度	54	2	44	2	50	2	148	6					10
	令和19年度	37	1	53	2	43	2	133	5					9
	令和20年度	35	1	37	1	51	2	123	4					8
	令和21年度	35	1	35	1	36	1	106	3					6
	令和22年度	35	1	35	1	35	1	105	3	155	6	△50	△3	6
	令和23年度	34	1	34	1	34	1	102	3					6
	令和24年度	34	1	34	1	34	1	102	3					6
	令和25年度	33	1	33	1	33	1	99	3					6
	令和26年度	33	1	33	1	32	1	98	3					6
	令和27年度	33	1	33	1	33	1	99	3	149	6	△50	△3	6
	令和28年度	32	1	32	1	32	1	96	3					6
	令和29年度	32	1	32	1	32	1	96	3					6
	令和30年度	31	1	31	1	31	1	93	3					6
	令和31年度	31	1	31	1	30	1	92	3					6
	令和32年度	31	1	31	1	31	1	93	3	143	6	△50	△3	6

		中学 1年生		中学 2年生		中学 3年生		中学校計		答申時		答申時との差		教員数
		生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	
蟹谷中学校	令和元年度	37	* 1	43	2	36	1	116	4	116	4	0	0	8
	令和2年度	26	1	37	1	43	2	106	4	107	4	△1	0	8
	令和3年度	30	1	26	1	37	1	93	3	95	3	△2	0	6
	令和4年度	28	1	30	1	26	1	84	3	86	3	△2	0	6
	令和5年度	31	1	28	1	30	1	89	3	91	3	△2	0	6
	令和6年度	34	1	31	1	28	1	93	3	92	3	1	0	6
	令和7年度	31	1	34	1	31	1	96	3	96	3	0	0	6
	令和8年度	27	1	30	1	33	1	90	3	95	3	△5	0	6
	令和9年度	29	1	27	1	30	1	86	3	91	3	△5	0	6
	令和10年度	27	1	28	1	26	1	81	3	89	3	△8	0	6
	令和11年度	25	1	27	1	27	1	79	3	83	3	△4	0	6
	令和12年度	24	1	25	1	27	1	76	3	78	3	△2	0	6
	令和13年度	26	1	24	1	25	1	75	3	74	3	1	0	6
	令和14年度	21	1	25	1	23	1	69	3					6
	令和15年度	21	1	21	1	25	1	67	3					6
	令和16年度	15	1	21	1	20	1	56	3					6
	令和17年度	13	1	15	1	21	1	49	3	79	3	△30	0	6
	令和18年度	13	1	12	1	14	1	39	3					6
	令和19年度	18	1	13	1	12	1	43	3					6
	令和20年度	18	1	17	1	13	1	48	3					6
	令和21年度	18	1	18	1	17	1	53	3					6
	令和22年度	18	1	18	1	18	1	54	3	76	3	△22	0	6
	令和23年度	17	1	17	1	17	1	51	3					6
	令和24年度	17	1	17	1	17	1	51	3					6
	令和25年度	17	1	17	1	17	1	51	3					6
	令和26年度	17	1	17	1	16	1	50	3					6
	令和27年度	17	1	17	1	17	1	51	3	73	3	△22	0	6
	令和28年度	17	1	17	1	17	1	51	3					6
	令和29年度	16	1	16	1	16	1	48	3					6
	令和30年度	16	1	16	1	16	1	48	3					6
	令和31年度	16	1	16	1	15	1	47	3					6
	令和32年度	16	1	16	1	16	1	48	3	70	3	△22	0	6
津沢中学校	令和元年度	40	2	38	1	44	2	122	5	122	5	0	0	9
	令和2年度	44	2	40	1	38	1	122	4	122	4	0	0	8
	令和3年度	37	1	44	2	40	1	121	4	123	5	△2	△1	8
	令和4年度	42	2	37	1	44	2	123	5	126	5	△3	0	9
	令和5年度	45	2	42	2	37	1	124	5	129	5	△5	0	9
	令和6年度	40	2	45	2	43	2	128	6	129	6	△1	0	10
	令和7年度	40	1	40	1	45	2	125	4	127	5	△2	△1	8
	令和8年度	48	2	39	1	39	1	126	4	128	5	△2	△1	8
	令和9年度	30	1	47	2	38	1	115	4	122	5	△7	△1	8
	令和10年度	33	1	29	1	46	2	108	4	112	4	△4	0	8
	令和11年度	32	1	33	1	28	1	93	3	98	3	△5	0	6
	令和12年度	28	1	32	1	33	1	93	3	91	3	2	0	6
	令和13年度	31	1	28	1	32	1	91	3	91	3	0	0	6
	令和14年度	22	1	30	1	27	1	79	3					6
	令和15年度	26	1	22	1	29	1	77	3					6
	令和16年度	28	1	26	1	21	1	75	3					6
	令和17年度	23	1	28	1	26	1	77	3	100	3	△23	0	6
	令和18年度	19	1	22	1	27	1	68	3					6
	令和19年度	20	1	19	1	22	1	61	3					6
	令和20年度	20	1	20	1	18	1	58	3					6
	令和21年度	20	1	20	1	20	1	60	3					6
	令和22年度	20	1	20	1	20	1	60	3	95	3	△35	0	6
	令和23年度	19	1	19	1	19	1	57	3					6
	令和24年度	19	1	19	1	19	1	57	3					6
	令和25年度	19	1	18	1	18	1	55	3					6
	令和26年度	19	1	19	1	18	1	56	3					6
	令和27年度	19	1	19	1	19	1	57	3	91	3	△34	0	6
	令和28年度	19	1	19	1	19	1	57	3					6
	令和29年度	18	1	18	1	18	1	54	3					6
	令和30年度	18	1	18	1	18	1	54	3					6
	令和31年度	18	1	18	1	17	1	53	3					6
	令和32年度	18	1	18	1	18	1	54	3	88	3	△34	0	6

* 普通学級の生徒数が35人のため1学級である。

		中学 1年生		中学 2年生		中学 3年生		中学校計		答申時		答申時との差		教員数
		生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	
中学校 年度別 合計	令和元年度	233	8	240	8	245	8	718	24	718	24	0	0	36
	令和2年度	191	7	232	7	241	8	664	22	665	22	△1	0	33
	令和3年度	220	7	191	7	232	7	643	21	646	22	△3	△1	32
	令和4年度	200	8	219	7	192	7	611	22	616	22	△5	0	33
	令和5年度	202	8	200	7	219	7	621	22	629	21	△8	1	33
	令和6年度	202	7	201	7	203	7	606	21	615	22	△9	△1	32
	令和7年度	204	6	202	6	201	6	607	18	618	21	△11	△3	27
	令和8年度	189	5	199	5	197	5	586	15	611	20	△25	△5	23
	令和9年度	183	5	185	5	196	5	564	15	595	20	△31	△5	23
	令和10年度	206	6	177	5	181	5	564	16	600	20	△36	△4	24
	令和11年度	173	5	207	6	173	5	552	16	574	19	△22	△3	24
	令和12年度	169	5	174	5	207	6	549	16	545	19	4	△3	24
	令和13年度	189	5	166	5	170	5	525	15	516	19	9	△4	23
	令和14年度	155	4	184	5	161	5	501	14					21
	令和15年度	164	5	153	4	180	5	497	14					21
	令和16年度	161	5	164	5	148	4	474	14					21
	令和17年度	165	5	162	5	165	5	491	15	546	18	△55	△3	23
	令和18年度	141	4	160	5	157	4	458	13					20
	令和19年度	131	4	139	4	157	4	427	12					18
	令和20年度	127	4	129	4	134	4	391	12					18
	令和21年度	127	4	127	4	127	4	382	12					18
	令和22年度	127	4	127	4	127	4	382	12	524	18	△142	△6	18
	令和23年度	123	4	123	4	123	4	369	12					18
	令和24年度	122	4	122	4	122	4	366	12					18
	令和25年度	120	3	119	3	119	3	357	9					14
	令和26年度	120	3	120	3	116	3	355	9					14
	令和27年度	120	3	120	3	120	3	359	9	503	18	△144	△9	14
	令和28年度	118	3	118	3	118	3	353	9					14
	令和29年度	115	3	115	3	115	3	344	9					14
	令和30年度	110	3	112	3	112	3	335	9					14
	令和31年度	110	3	110	3	108	3	329	9					14
	令和32年度	111	3	111	3	111	3	332	9	481	18	△149	△9	14

※児童生徒数は、各年5月1日現在の数値に基づく。

ただし、令和7年度以降の児童生徒数は、国立社会保障・人口問題研究所の最新の推計モデル「日本の地域別将来推計人口（令和5（2023）年推計）」を用いた推計。

令和7年度以降の学級数は、全学年40人学級として算出。（※合計も全学年40人学級として算出。）

図表 3 学校施設整備の現況

①小中学校校舎・体育館の整備経過と現況

学校名	区分	面 積	整備年	大規模 改 造 実施年	経過年数(2024時点)		耐震化	普通教室 エアコン 整備年度	プール
					整備年 以降	大規模 改造以降			
石動小学校	校 舎	6,336㎡	H26(2014)	未実施	10年		対応済	H28年	市民プール を利用
	体育館	2,321㎡	H24(2012)		12年				
東部小学校	校 舎	3,466㎡	S34(1959)	H25年	65年	11年経過	対応済	H25年	市民プール を利用
	体育館	1,370㎡	S35(1960)		64年				
大谷小学校	校 舎	3,882㎡	S41(1966)	H25年	58年	11年経過	対応済	H25年	S44整備
	体育館	1,345㎡							
蟹谷小学校	校 舎	4,157㎡	S54(1979)	H14年	45年	22年経過	対応済	H27年	H1 整備
	体育館	1,249㎡							
津沢小学校	校 舎	6,000㎡	S56(1981)	H17年	43年	19年経過	対応済	H27年	S60整備
	体育館	1,271㎡							
石動中学校	校 舎	8,761㎡	S59(1984)	未実施	40年		対応済	H23年	無
	体育館	947㎡ 市民体育館も利用							
大谷中学校	校 舎	4,742㎡	S59(1984)	未実施	40年		対応済	H23年	無
	体育館	1,077㎡							
蟹谷中学校	校 舎	4,970㎡	H1(1989)	未実施	35年		対応済	H23年	無
	体育館	1,297㎡							
津沢中学校	校 舎	5,039㎡	H1(1989)	未実施	35年		対応済	H23年	無
	体育館	1,516㎡	H3(1991)		33年				

②市内小中学校敷地の現況

小学校名	整備年	面 積	中学校名	整備年	面 積
石動小学校	S41、H25	29,009㎡	石動中学校	S24、S59	25,866㎡
東部小学校	S35	17,174㎡			
大谷小学校	S41	32,325㎡	大谷中学校	S57	41,481㎡
蟹谷小学校	S53	43,228㎡	蟹谷中学校	H1	81,490㎡
津沢小学校	S55	24,972㎡	津沢中学校	S25、H3	38,183㎡

※ 大規模な改修等に関する措置（国庫補助）
学校施設環境改善交付金は以下の補助メニューがある。

■長寿命化改修事業

対象施設：建築後40年以上経過した建物

■長寿命化改良事業（予防改修）

対象施設：①建築後20年以上40年未満であるもの又は長寿命化改良事業後20年以上経過したもの
②個別施設ごとの長寿命化計画（個別施設計画）に基づくもの

算定割合：1／3、下限額：3,000万円、上限額：1億円

学校別の普通教室数

令和6年11月1日調べ

学校名	通常 学級数	特別支援 学級数	その他教室数		計
				内 訳	
石動小学校	12	3	4	生活科室、総合学習室2室、児童会室	19
東部小学校	6	0	5	生活科室、学習室3室、児童会室	11
大谷小学校	12	3	3	生活科教室、少人数指導教室（すいせん）、外国語教室	18
蟹谷小学校	6	2	3	生活科室、少人数指導教室（きらめき）、外国語教室/児童会室	11
津沢小学校	8	3	8	学年広場5室、多目的教室2室、通級指導教室1室	19
石動中学校	6	2	8	学習室7室、教材室1室	16
大谷中学校	6	2	2	生徒会室、学習室	10
蟹谷中学校	3	1	5	学習室3室、ふれあい室、進路相談室	9
津沢中学校	6	2	0		8

【学校規模によるメリットとデメリット（文部科学省手引きより）】

- ・ 学校の適正配置に関して都道府県・市町村が作成している計画等を参考に、文部科学省が作成したものを編集して記載しています。

（1）小規模化

	メリット	デメリット
学習面	・ 児童・生徒の一人ひとりに目がとどきやすく、きめ細かな指導が行いやすい。 ・ 学校行事や部活動等において、児童・生徒一人ひとりの個別の活動機会を設定しやすい。	・ 集団の中で、多様な考え方に触れる機会や学びあいの機会、切磋琢磨する機会が少なくなりやすい。 ・ 1 学年 1 学級の場合、ともに努力してよりよい集団を目指す、学級間の相互啓発がなされにくい。 ・ 運動会などの学校行事や音楽活動等の集団教育活動に制約が生じやすい。 ・ 中学校の各教科の免許を持つ教員を配置しにくい。 ・ 児童・生徒数、教職員数が少ないため、グループ学習や習熟度別学習、小学校の専科教員による指導など、多様な学習・指導形態をとりにくい。 ・ 部活動等の設置が限定され、選択の幅が狭まりやすい。
生活面	・ 児童・生徒相互の人間関係が深まりやすい。 ・ 異学年間の縦の交流が生まれやすい。 ・ 児童・生徒の一人ひとりに目がとどきやすく、きめ細かな指導が行いやすい。	・ クラス替えが困難なことなどから、人間関係や相互の評価等が固定化しやすい。 ・ 集団内の男女比に極端な偏りが生じやすくなる可能性がある。 ・ 切磋琢磨する機会等が少なくなりやすい。 ・ 組織的な体制が組みにくく、指導方法等に制約が生じやすい。
学校運営面・財政面	・ 全教職員間の意思疎通が図りやすく、相互の連携が密になりやすい。 ・ 学校が一体となって活動しやすい。 ・ 施設・設備の利用時間等の調整が行いやすい。	・ 教職員数が少ないため、経験、教科、特性などの面でバランスのとれた配置を行いにくい。 ・ 学年別や教科別の教職員同士で、学習指導や生徒指導等についての相談・研究・協力・切磋琢磨等が行いにくい。 ・ 一人に複数の校務分掌が集中しやすい。 ・ 教員の出張、研修等の調整が難しくなりやすい。

		・子ども一人あたりにかかる経費が大きくなりやすい。
その他	・保護者や地域社会との連携が図りやすい。	・PTA活動等における保護者一人あたりの負担が大きくなりやすい。

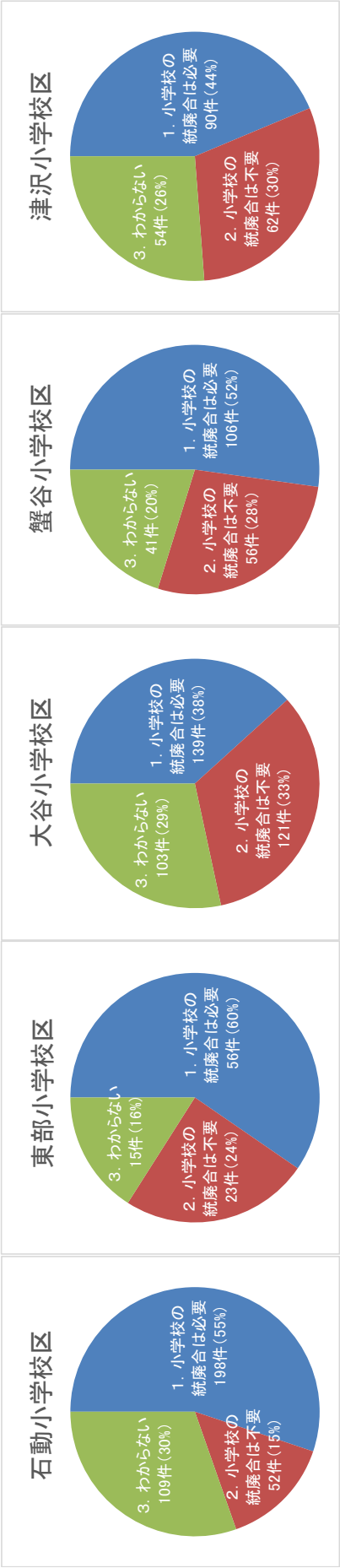
(2) 大規模化

	メリット	デメリット
学習面	・集団の中で、多様な考え方に触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて、一人ひとりの資質や能力をさらに伸ばしやすい。 ・運動会などの学校行事や音楽活動等の集団教育活動に活気が生じやすい。 ・中学校の各教科の免許を持つ教員を配置しやすい。 ・児童・生徒数、教職員数がある程度多いため、グループ学習や習熟度別学習、小学校の専科教員による指導など、多様な学習・指導形態を取りやすい。 ・様々な種類の部活動等の設置が可能となり、選択の幅が広がりやすい。	・全教職員による各児童・生徒一人ひとりの把握が難しくなりやすい。 ・学校行事や部活動等において、児童・生徒一人ひとりの個別の活動機会を設定しにくい。
生活面	・クラス替えがしやすいことなどから、豊かな人間関係の構築や多様な集団の形成が図られやすい。 ・切磋琢磨すること等を通じて、社会性や協調性、たくましさ等を育みやすい。 ・学校全体での組織的な指導体制が組みやすい。	・学年内・異学年間の交流が不十分になりやすい。 ・全教職員による各児童・生徒一人ひとりの把握が難しくなりやすい。
学校運営面・財政面	・教職員数がある程度多いため、経験、教科、特性などの面でバランスのとれた教職員配置を行いやすい。 ・学年別や教科別の教職員同士で、学習指導や生徒指導等についての相談・研究・協力・切磋琢磨等が行いやすい。 ・校務分掌を組織的に行きやすい。 ・出張、研修等に参加しやすい。 ・子ども一人あたりにかかる経費が小さくなりやすい。	・教職員相互の連絡調整が図りづらい。 ・特別教室や体育館等の施設・設備の利用の面から、学校活動に一定の制約が生じる場合がある。
その他	・PTA活動等において、役割分担により、保護者の負担を分散しやすい。	・保護者や地域社会との連携が難しくなりやすい。

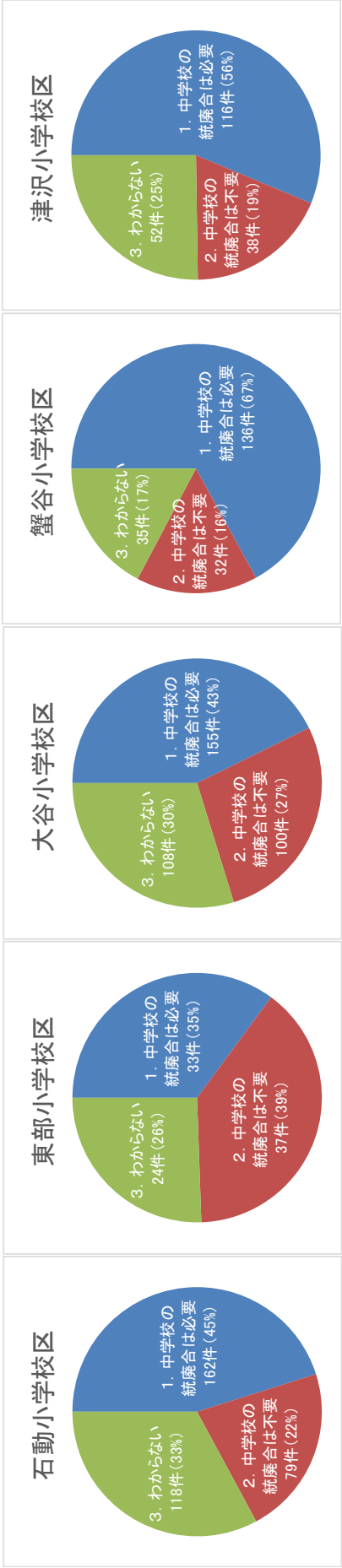
【保護者用】小中学校の統廃合に関するアンケート調査 校区別集計結果(保護者全体)

ア.小学校の統廃合について お伺いします。		石動小学校区	東部小学校区	大谷小学校区	蟹谷小学校区	津沢小学校区	合計
1. 小学校の統廃合は必要		198	56	106	139	90	589
2. 小学校の統廃合は不要		52	23	56	121	62	314
3. わからない		109	15	103	41	54	322
合計		359	94	363	203	206	1,225
イ.中学校の統廃合について お伺いします。		石動小学校区	東部小学校区	大谷小学校区	蟹谷小学校区	津沢小学校区	合計
1. 中学校の統廃合は必要		162	33	155	136	116	602
2. 中学校の統廃合は不要		79	37	100	32	38	286
3. わからない		118	24	108	35	52	337
合計		359	94	363	203	206	1,225

[ア.小学校の統廃合についてお伺いします。]



[イ.中学校の統廃合についてお伺いします。]



小中学校の統廃合に関するアンケート調査の主な意見

1 統廃合賛成

- ・統合するほうが、友達がたくさんできる。
- ・複数のクラスがある方が良い。
- ・蟹谷中校下は、保育園から中学校まで同じ人間関係、特に1クラスのみ。
- ・大谷中校下は、保育園から中学校まで同じ人間関係。
- ・同じメンバーで長年過ごすことで連帯感や安定感のメリット。
- ・今後の児童数、切磋琢磨(部活動含む)できる環境をみると、中学校は1校。
- ・一刻も早く統廃合すべき。中学校は大谷・石動の2校、東部小は石動小を統合、蟹谷小と津沢小と統合で小学校3校。
- ・東部小の生徒が少ないので進学に不安、石動小へ統合していただきたい。
- ・児童数が少なく部活動を選べない。
- ・統廃合は、重鎮の意見を重視することなく、子育て世代やこれから子供を産み育てる世代の意見が反映されることを願う。もっと早く動いて欲しい。
- ・中学校は運動能力や受験に向けての競争性は社会に出る勉強として必要なことから、統合して人数を増やす必要がある。

2 統廃合反対

- ・少人数(20人〜30人程度)クラスで、目の行き届く教育が良い。
- ・人数が増えることだけが良いことではない。
- ・学校が減ると通学距離が延びる。保護者の送迎が難しい。
- ・スクールバスなどによる登下校時の通学手段の確保。
- ・生徒同士のトラブルやコミュニケーション不足などのデメリットがある。
- ・小学校2校(大谷・石動)、中学校1校(大谷又は石動)。
- ・小学校の統合は、徒歩では通学が困難。
- ・各校区で文化、産業も異なっている。山間地や過疎地の校区が軽視される。
- ・小学校は地域とのつながりを重視する活動の取り組みが多いので、現状維持。
- ・学校が存続することでその地域が活性化することも事実であり、十分考慮の上、再編を検討する。
- ・統廃合に反対。
- ・小学生は地域で育てる必要がある。

(3) その他

- ・将来、クロスランドおやべ辺りに、義務教育学校(小中一貫校)を1校。
- ・どこかで政治的な決断をしないと堂々巡り。
- ・答申案では、津沢との統合だが、石動のほうが近いので統合するなら石動。
- ・部活動の地域移行化(クラブ化)を早く進めてほしい。
- ・学校がなくなると地域が衰退する人もいるが疑問。
- ・学校区制の廃止。
- ・建物の老朽化しているので、新しくするときに統合する。

令和6年度市長のタウンミーティング等での意見について

開催日	地区	意見
令和6年7月24日	石動北部地区	2050年の人口予想を見ると、市内で小学校1校、中学校1校といった形を考えていくべきだと思う。
令和6年7月25日	石動南部地区	孫が2歳だが同年代の子供が140人と子供が少なくなっている。小学校も、中学校も1校に統合していただきたい。
令和6年8月20日	松沢地区	平成30年からの検討委員会後、学級編成について法律改正があったのではないかな。確認された方がいいのではないかな。
令和6年8月28日	子撫地区	寄島西中野線等道路が拡幅整備される予定であり、今後住宅が張り付いてくるエリアなので今後東部小学校区は人口が増える要素があるのではないかな。統廃合の整備計画にはそれらの推計も考慮すべきではないかな。
令和6年9月3日	宮島地区	年に3、4回授業参観に行くが東部小学校の1クラスの人数は大変少ない状況にある。再編を考えておられるなら、なるべく早くしてほしい。 小中学校の再編の答申を受けて東部小学校下の署名にて、市へ存続の要望書を提出しているが、今後出される方向性を注視していところである。地区には東部小学校の存続を望む年配者が多い。
令和6年9月5日	北蟹谷地区	10～20年後、人口が少なくなる推計が出ている。4つある中学校を1つにするという考えはないかな。 社人研で今後20～30年後の児童・生徒数は把握しているのか。
令和6年9月19日	津沢地区	小中学校の再編について、令和元年に答申が出てから今日まで至っているが、今年の12月までにいろんな意見を聞いて方向性を示すのか。令和元年の時も人口の数値を示していたが、その時と大分変わってきているのか。
令和6年10月2日	水島地区	小中学校の統廃合は実際のところ今後どうなりそうなのか
令和6年10月8日	藪波地区	小中学校の再編はどうなっているのか。25年後には児童生徒数が半数になるという推計もでていますが、将来のイメージをはっきりしてもらいたい。

令和6年10月9日	児童クラブ指導者養成講座	中学校の統合が1番必要だと思っていたが、部活動地域移行等により慌てなくてもよいと思い始めた。
		児童数が減少していることから、津沢小中と蟹谷小中あたりを統合する必要があると思う。
令和6年10月15日	東蟹谷地区	蟹谷小中と津沢小中が統合するとなると我々は津沢まで送迎しなければならない。その時間やコストがデメリットとなる。一方、校舎を整備する等教育環境が整うことのメリットの両方を示してもらえると判断しやすい。
		令和元年の答申の結果後、社会情勢が変わってきていたりするが、蟹谷小中と津沢小中の統合になると通学に遠い地区も出てくる。それに伴い学区制の見直しはどうか。